

着任のご挨拶

12月16日の月曜日にサモアに着任いたしました。前任地のアイスランドからの転勤です。アイスランドは、北大西洋の北のはずれ、北極圏に接するところに位置し、夏には夜遅くまで日が沈まず、冬は、レイキャビクでは日が出ている時間はわずか4時間ほど。今の時期には11時過ぎにようやく日の出を迎える一番暗い時期。ちなみに、首都レイキャビクでも冬の夜空にはオーロラの見えることもあります。アイスランドは「炎と氷の地」とも形容され、大地から吹き出す溶岩が固まった黒い大地と島の3分の1を覆う氷河がコントラストが見事。

そのアイスランドからは遅く離れた南半球、南太平洋の島国、亜熱帯のサモアへ。

両者とも同じ島国で、国を囲む海から大きな恵みを得ていること、人口で測ると国の規模は大きく無いこと、地球規模の気候変動の影響を大きく受けていることなど、共通点も少なく無いのですが、気候だけは全く逆。アイスランドでは夏でも気温は20度を超えることは少ないので、一年中、日本では冬に着る上着、それにダウンのジャケットを羽織る、というスタイルでした。ここサモアでは、通年、30度近いとか。気温差だけで、ざっと30度。（注。アイスランドではメキシコ湾岸流の影響で、緯度が高い割には冬もあまり寒くはなりません。）

引っ越しにあたり、サモアではおよそ着ないであろう冬物衣類は大量に処分しました。

サモアでの最初の仕事の一つは正装のシャツを誂えること、です。